






浸水防止用設備の概要

資料 3 - 3

浸水防止用設備 【開口部設置型】

J S D A 2019.12.13

写真					
種類	起伏式	起伏式（浮力方式）	スイング式	スライディング式	スイング式
操作方法	手動・電動	自動	手動	手動・電動	手動
用途	地下駐車場・建物外構 地下鉄出入口	地下駐車場・建物外構 地下鉄出入口	地下駐車場・建物外構	地下通路 地下街ビル出入口	地下通路・地下鉄 地下街ビル出入口
留意点	床に埋設されるため、落ち葉やヘドロなど動作障害となる。定期的な清掃点検が必要。	床に埋設されるため、落ち葉やヘドロなど動作障害となる。定期的な清掃点検が必要。	側壁に収納され可動範囲が大きいため、開閉操作に注意が必要。	側壁に収納され重量があるため、開閉操作に注意が必要。	側壁に収納され可動範囲が大きいため、開閉操作に注意が必要。
特徴	通常は、建物の壁・床に収納、非常時にセット。 スイング式・スライディング式は、締付機構にて止水する構造です。（非常時使用できるよう講習が必要。） 建具型では、JISA4716で浸水防止性能が規定され、これに準拠して漏水量 $0.2\text{m}^3/\text{h}\cdot\text{m}^2$ 以下で6等級に区分、比較が可能。				
備考	非常時に使用する締付機構など年1回作動・破損劣化などの点検が必要。				

浸水防止用設備 【脱着型】

J S D A 2019.12.13

<p>写真</p>					
<p>種類</p>	<p>土のう式</p>	<p>脱着式 単一構造</p>	<p>脱着式 連続構造</p>	<p>シート式</p>	
<p>操作方法</p>	<p>手動</p>	<p>手動</p>	<p>手動</p>	<p>手動</p>	
<p>用途</p>	<p>一般的に使用</p>	<p>玄関・コンビニの自動扉</p>	<p>地下出入口・建物外構</p>	<p>シャッター・建具</p>	
<p>留意点</p>	<p>設置するのに時間と手間がかかる。</p>	<p>セットの仕方で性能が確保されない。 保管場所が必要。 ガラスサッシ部分について、水圧や漂流物による影響に留意が必要。</p>	<p>セットの仕方で性能が確保されない。 保管場所が必要</p>	<p>使用材質により耐久性に差が出る。 保管場所が必要</p>	
<p>特徴</p>	<p>脱着式には、多種多様な製品があり代表的なものを掲載。 通常は、別の場所に収納されているため、非常時使用できるよう講習が必要。 JISA4716で浸水防止性能が規定されていますので、これに準拠して漏水量など等級比較が可能。</p>				
<p>備考</p>	<p>非常時に使用する締付機構など年1回作動・破損劣化などの点検が必要。</p>				

浸水防止用設備 【建具型】

J S D A 2019.12.13

<p>写真</p>					
<p>種類</p>	<p>シャッター型 連続構造</p>	<p>シャッター型 単一構造</p>	<p>ドア型 スイング式</p>	<p>ドア型 スライディング式</p>	
<p>操作方法</p>	<p>電動（停電時手動） 非常時締付機構使用</p>	<p>電動（停電時手動） 非常時締付機構使用</p>	<p>手動 非常時締付機構使用</p>	<p>手動 非常時締付機構使用</p>	
<p>用途</p>	<p>地下鉄・地下街 建物の出入口</p>	<p>地下鉄・地下街 建物の出入口</p>	<p>建物の通用口 電気室など</p>	<p>建物の通用口 電気室など</p>	
<p>留意点</p>	<p>通常は建物の管理に使用されているため、止水材の変形・破損・劣化など動作時点検が必要。比較的高い浸水高さに対応可能。</p>	<p>通常は建物の管理に使用されているため、止水材の変形・破損・劣化など動作時点検が必要。</p>	<p>通常は建物の管理に使用されているため、止水材の変形・破損・劣化など動作時点検が必要。比較的高い浸水高さに対応可能。</p>	<p>通常は建物の管理に使用されているため、止水材の変形・破損・劣化など動作時点検が必要。比較的高い浸水高さに対応可能。</p>	
<p>特徴</p>	<p>管理用のシャッター、ドアで常用、開閉性能はJISA4705 重量シャッター, JISA4702 ドアセットに準拠。 非常時に締付機構にて止水する構造。（非常時使用できるよう講習が必要。） 建具型は、JISA4716で浸水防止性能が規定され、漏水量$0.2\text{m}^3/\text{h}\cdot\text{m}^2$以下で6等級に区分。</p>				
<p>備考</p>	<p>非常時に使用する締付機構など年1回作動・破損劣化などの点検が必要です。</p>				